

# 第4学年 道徳学習指導案

日時 平成18年9月25日(月)  
第5校時(13:25~14:10)  
児童 俱知安小学校4年1組 26名  
授業者 教諭 植松 真将

1. 主題名 「正義・勇気」1-(4)
2. ねらい 勇気とは、人に頼らずに自分自身で正しく判断して行動しようとする心であることに気づき、正しいと思うことには、勇気を持って行おうとする態度を養う。
3. 資料名 「勇気の缶詰」 出典：とっておきの道徳授業Ⅲ(日本標準)・・・1部改編

## 4. 本時について

### (1) 本時の主張

子どもたちはしばしば正しいとわかっていながら、損得を考えたり、周りの人の反応を気にしたりして正しい行いをできないことがある。迷いやためらいに負けず、勇気を持って正しいことをし、正しくないことを阻止するといった強い態度を育てることは重要である。本題材「勇気の缶詰」をもとにして、勇気とは何かについて子どもたちに考えさせたい。また、児童自身がこれまでに勇気が無かったために後悔したり、損をしたりしたという経験を出し合うことから、「勇気を出すためには？」ということについても話し合う。勇気とは、「お金で買えないもの」であり、「自分の心から湧いてくるもの」であるとともに、「みんなも同じように考えていることを知ることで勇気が出てくる」ことにも気づかせたい。

### (2) 研究の視点とのかかわり

- 導入時に勇気の缶詰と書いた実物を用意し、児童の興味・関心を高める。
- 資料を前半・後半に分けて提示したり、空欄部分を設けたりすることで、児童がより自分ごととして考えられるようにする。
- ワークシートやカードの活用で、全員が考えたり、発表したりする場を作ることができる。
- 学習シートに自分の学びを振り返ることで、自分の思いや考えの変容、あるいは、友達の考えのよさを見つけることで、みんなで学ぶことの価値を自覚することができる。

### (3) 本時の展開

子どもの活動・思考の流れ	・教師のかかわり
<p>何の缶詰か予想する。</p> <p>サバの味噌煮？</p> <p>食べ物かな？</p> <p>信じられないような缶詰って？</p>	<p>このお話に出てくる主人公は信じられないような缶詰を見つけました。何の缶詰だと思いますか？</p> <p>・「〇〇のかんづめ」と板書したのち、缶詰を提示して、何の缶詰か予想させる。</p>
<p>勇気とはどんなものか考える。</p> <p>強い心かな？</p> <p>思い切ってやること？</p> <p>こわがらないでやる気持ち？</p>	<p>勇気とはどんなものですか？</p>
<p>読み物資料「勇気のかんづめ」前半部分を読む。</p> <p>そんな缶詰あるわけないよ</p> <p>きっと中身はないよ</p> <p>いくらで買えるのかな？</p>	<p>・資料の前半部分を読み聞かせる。</p>

「勇気のかんづめ」の値段を予想する。

1万円ぐらいかな？

2個買ったぐらいだから安いかな？

ぼくだったら500円なら買う

勇気のかんづめがいくらで売っていたと思いますか？いくらだったら買いますか？

・「勇気のかんづめ」の値段を予想させ  
実は100円だったそうです。

どんな時に勇気のかんづめを使うか考える。

勉強中、答えに自信が持てないとき

「ごめんなさい」を言いたいとき。

悪いことを見つけて注意するとき

勇気がなくてできなかったから

同じことで後悔したことがあるから

もし、勇気のかんづめがあったとしたら、みんなならどんな時に使いますか？

・これまでに勇気がほしいと思った経験を出させる。  
・カードに記入させて黒板に掲示  
どうしてその時に使いたかったのかな？

読み物資料「勇気のかんづめ」後半部分を読む。

やっぱり勇気なんて売っているわけないんだ

やっぱり勇気なんて目に見えないんだよ

紙にはなんと書いてあったのかな？

・資料の後半部分を読み聞かせる。

勇気のかんづめに入っていた紙に何と書かれていたかを予想する。

「勇気は目に見えないよ」だと思うよ。

「勇気は心の中にあるんだよ」だと思うよ。

「思い切りがんばってごらん」と書いていたと思うよ。

勇気のかんづめに入っていた紙には何と書いてあったのか予想してみましょう。

・缶の底に書かれてあった言葉を予想させて、学習シートに書かせる。

どうしたら勇気を出せるようになるか話し合う。

勇気はお金で買えないもの

勇気は目に見えないもの

とっても大切なもの

まず思い切ってやってみる。1回やると勇気が増える

自信がないと勇気が出ない

一人だとなかなか勇気が出せなかった

もう一度勇気とはどんなものか整理してみましょう。

では、どうしたら、勇気を出せるようになるのでしょうか？

- ・いろいろな勇気があるんだね。
- ・みんな勇気がとても大切だと思っているんだね。
- ・これからも勇気を出し合っていきたいね。

・どうしたら勇気を出せるようになるのか、または、どうして勇気が出ないのかを話し合い、今後の生活へ生かせるようにする。

## 勇気のかんづめ

夏休みのある日のことです。家族で親せきの家に遊びに行った帰りにデパートへ買い物に行きました。買い物がすんでから少し時間があつたので、ぼくは、店の中をぶらぶらしていました。

その時信じられないようなものを見つけました。

缶に入った勇気、つまり、「勇気のかんづめ」が売られていたのです。

「まさか！」

ぼくは、信じられませんでした。

「勇気のかんづめ（100）円」そこにはそう書かれてありました。

この中には何が入っているのだろうか？

本当に勇気が入っているのだろうか？

缶を開ければ自分に勇気がわいてくるのだろうか？……………

そんなんことを考えていました。

ぼくは、勇気のかんづめを2こ買いました。人一倍の勇気がほしかったからです。

帰りの車の中で、ぼくはいろいろなことを考えました。

勇気を出せなくて失敗したこと……………

はずかしい思いをしたこと……………

どれも思い切って行動すれば解決できることばかりでした。

今思えば、ぼくの心のどこかで本気で「勇気のかんづめ」に期待していたのかもしれない。

家に着きました。ぼくは部屋に誰もいないことを確かめて「勇気のかんづめ」をあけました。

はじめから勇気そのものが入っているなんて思っていないませんでした。でも、「勇気とはこういうものだ。」とか「勇気を得るにはこうすればいい」とかいうものくらいは入っているだろうと期待していました。

ところが、かんづめを開けてみて、頭をがんとなぐられたような思いがしました。かんづめの中には紙切れが一枚入っているだけでした。

その紙には、ただ、

**ボクニタヨルナヨ。ヨワムシ。**

とだけ書いてあつたのです。

# 4年生道徳 「<sup>かんづめ</sup>勇気の缶詰」学習シート

4年 組

< 勇気の缶詰』のお話の後半 >

帰りの車の中で、ぼくはいろいろなことを考えました。

勇気を出せなくて失敗したこと・・・

はずかしい思いをしたこと・・・

どれも思い切って行動すれば解決できることばかりでした。

今思えば、ぼくの心のどこかで本気で「勇気のかんづめ」に期待していたの  
かもしれません。

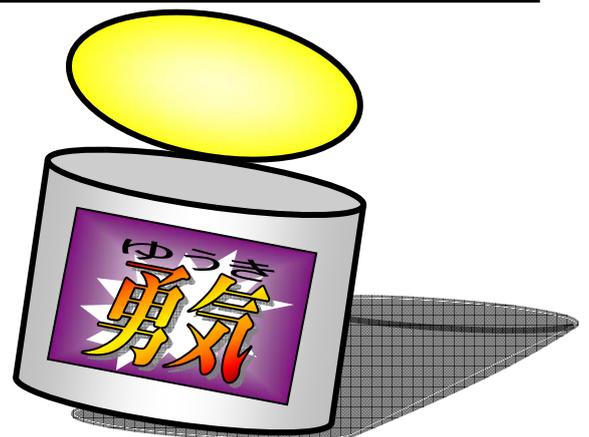
家に着きました。ぼくは部屋にだれもいないことを確かめて「勇気のかんづめ」をあけました。

はじめから勇気そのものが入っているなんて思っていませんでした。でも、「勇気とはこういうものだ。」とか「勇気を得るにはこうすればいい」とかいうものくらいは入っているだろうと期待していました。

ところが、かんづめを開けてみて、頭をがんとなぐられたような思いがしました。かんづめの中には紙切れが1枚入っているだけでした。

その紙には、ただ、

とだけ書いてあったのです。



◎今日の学習で考えたことや感想を書きましょう。

A large rectangular box with a solid black border and horizontal dashed lines inside, intended for writing reflections.

# 授業を振り返っての成果（○）と課題（●）

## 【 研究の視点1 】

：子どもの問題意識を誘発し、学習に対する意欲を高める教材との出会いや単元構成の工夫

- 導入時に「勇気の缶詰」と書いた缶詰の実物を提示することで、「何の缶詰かな?」「何が入っているのかな?」など、児童の興味関心を高めることができた。
  - 時間の配分と言う観点から「缶詰の予想」や「値段の予想」については、もう少し時間をすっきりさせた方がよかった。
- ⇒「何に重点を置くのか?」本時の山場を意識して授業を構成していくことが大切。

## 【 研究の視点2 】

：一人一人を大切にし、子どもの学びをより主体的なものに高める学習過程や教師の支援

- 読み物資料を前半・後半と2部に分けて提示することで、物語をとらえやすくしたり、続きはどうなるのだろう?とその世界に入り込んだりしやすくし、子どもたちが興味をもって読み進めることができた。
- 読み物資料に空欄を設け、ワークシートにその部分を考えさせる活動で、子どもたちなりの自由な発想を促すことができた。また、一人一人が勇気についてどのように考えているのかについてもとらえることができた。
- 「勇気とは何か?」ということだけでなく、「勇気を出すには?」といった方策まで探る展開で子どもたちに今後の実践力への具体的な見通しまで立てさせることができた。
- 効果的な板書の計画をしておいた方がよかった。(字の大きさ・配置・強調点など)
- この時間でどんなまとめを行いたいのかといったまとめの構想を指導案上にも位置づけておくべきだった。
- どの場面を重点的に扱うのかを明確にして展開時間の配分を検討しておくべきだった
- 『勇気の缶詰』を使いたい時は?という問いで一人一人にカードに記述させたが、そのカードの分類を教師側でしておけば、時間的にも短縮できたとし、「勇気」の形をよりはっきりさせることができたのではないか。

## 【 研究の視点3 】

：一人一人のよさや可能性を共感的・継続的にとらえ、次の学習や生活に生かす評価

- 「勇気とは?」という問いかけに授業の前半部分ではあまり意見がでなかったが、クラスのみんな考えていくことで、授業の後半では勇気についてより広く、深くとらえることができ、みんなで考えるよさを実感することができたのではないか。
- 学習シートに自分の学びを振り返ることで、自分の思いや考えの変容、あるいは、友達の考えのよさを見つけることで、みんなで学ぶことの価値を自覚することができたのではないか。
- 意図的に道徳的実践力を見取る場の設定をするなど、今後の指導について系統性を持たせた指導計画を作成していく必要があるのではないか。